

月刊

建材

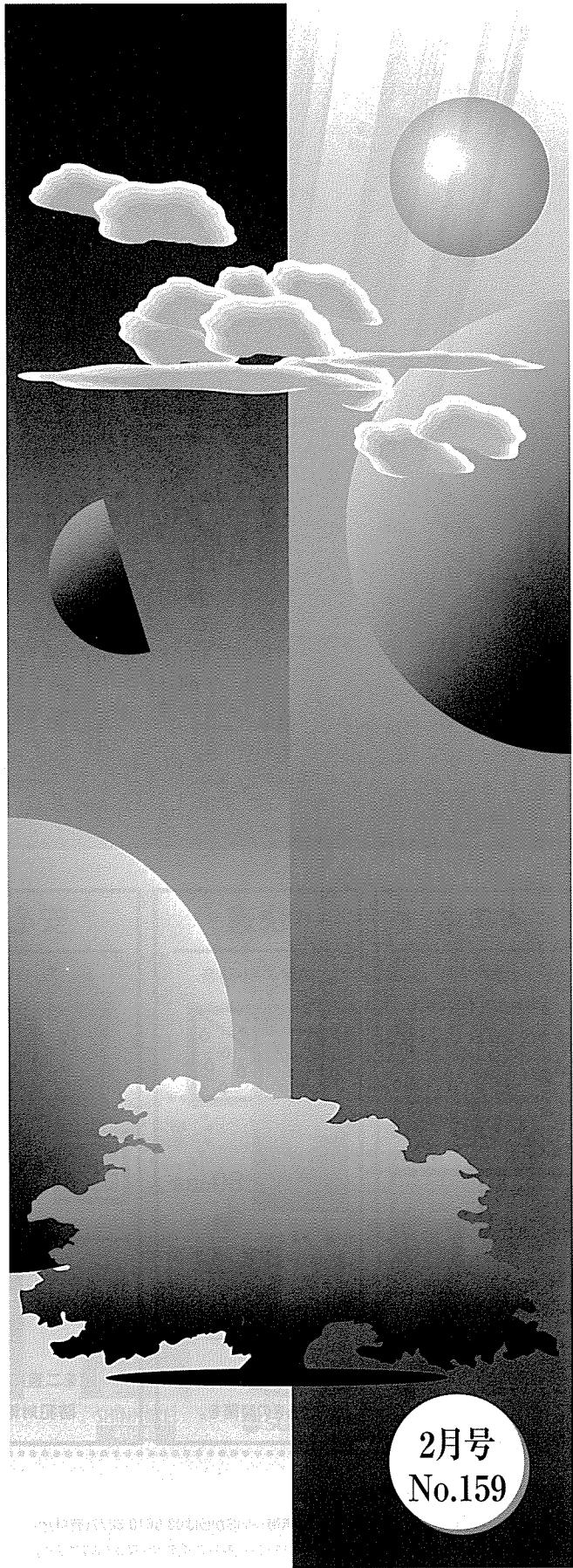
navi

ナビ

特集・開口部の断熱・採光・通風機能を高め、
快適な室内環境を創出する
窓用シャッター／横引雨戸

特集・2011-2012年期待の商品群

〈開口部／内装／エクステリア編〉
〈ビル／マンション／病院編〉



2月号
No.159

ミルト出版会

〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87

ト1-407号

☎ 042-484-4507

FAX 042-484-4509

発行人 堤 祥行

年間講読料 30,000円(送料・税込)

建材navi 2月号-No.159 目次

特 集	開口部の断熱・採光・通風機能を高め、快適な 室内環境を創出する窓用シャッター／横引戸戸	5
特 集	2012年期待の商品群 (開口部／内装／エクステリア編) (ビル／マンション／病院編)	12 15
[環境・健康建材コーナー]		3
[新製品・新技术情報／業界の動き]		18

© Miruto Shuppankai Ltd.2012 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX: 042-484-4509までお申し込みください

----- キリトリ -----

月刊「建材navi」購読申込書

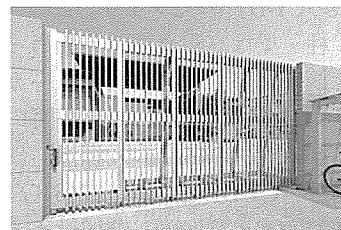
月刊「建材navi」を平成24年(2012年)□号(月号)より1年間購読します。
(年間購読料／送料・税込30,000円)

貴社名		部署		ご芳名	印
送付先					
				FAX	

【環境・健康建材コーナー】

三協立山アルミ

大型引戸門扉「グラフ
エードRU」シリーズに
侵入抑止効果の高める
「ハイタイプ」を新設定



三協立山アルミ(藤木正和社長)は、工場や公共施設向けの大型引戸門扉「グラフェードRU」シリーズに侵入抑止効果を高めるH2000・2500・3000mmの「ハイタイプ」を新たに設定した。

高尺サイズのシンプルな縦格子デザイン。全シリーズに、扉を停止した状態で先頭キャスターにロックが掛かる「ロック機構付きキャスター」を標準採用し、安全性を高めている。また、全閉時の扉を門柱に確実に納める「戸当たり補助ガイドライン」により、鎌錠のクリアランスを矯正し、施解錠操作をスムーズにした。

本体はアルミ形材(サンシルバー・アーバングレー・ダークブロンズの3色)、レールにスチール・ステンレス。片引き・両引きタイプ。ハイタイプの追加で格子、笠木、ます格子、2段笠木の全5タイプ。参考価格:ハイタイプの幅3000×高さ2000mm、片引き、スチールレール104万7700円。



「ハイタイプ」「大開
口タイプ」設定の大
型門扉・フェンス
「フレラインN」発売

三協立山アルミは、工場・公共施設向けの大型門扉・フェンス「フレラインN」を新発売した。

格子をベースにしたベーシックデザインの1999年発売の「フレライン」をリニューアルしたもので、耐風圧性能、意匠、防犯性などを全面的に刷新した。

防犯効果を高める「ハイタイプ」の2500・3000mmを新たに設定したほか、幅2000・3000・4000mm、両開き有効開口最大8000mm対応の「大開口タイプ」も追加した。

耐風圧性能は、基準風速 $V_0 = 34 \text{ m/s}$ (1160 N/m^2) に高められた。

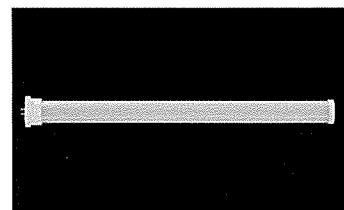
デザインバリエーションも、流線形・剣先飾り付き格子・太格子など門扉7デザイン・フェンス8デザインに増強。笠木タイプは門扉・フェンスそれぞれ2種。さらにオプションで、外部視線をさえぎる「デザイン格子ユニット」も設定された。

カラーバリエーションは、アルミ系3色に木調色(トラッドパイン+ダークブロンズ)をラ

インアップした。参考価格は、大型フェンス: W2000×H3000mmで1スパン8万円。門扉: W(1100×2)×H3000mm 38万7000円。

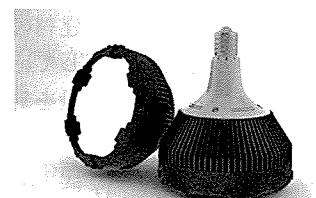
不二サッシ／ミタチ産業

リニューアル用LED
照明を共同開発、直管
形、コンパクト形、水
銀灯形照明を発売開始



不二サッシ(土屋英久社長)とミタチ産業(橋至朗社長)は、リニューアル用LED照明を共同開発し発売を開始した。

共同開発商品の第一弾はリニューアル用照明。主にオフィス向けの直管形LED照明で、20W型・40W型・110W型の3タイプ。もっとも一般的な40W型は、消費電力22W、明るさ2300Lm(ルーメン)と、100を超える発光効率(Lm/w)性能を実現。天井面の暗さを解消する照射角度270度を実現した拡散形LED。



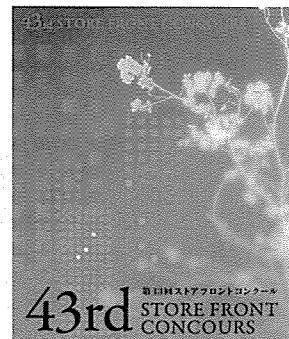
さらに、商業施設向けのコンパクト蛍光灯タイプのLED照明、生産工場や倉庫向けの高出

力タイプの水銀灯形LED照明もあわせて発売する。

製造はミタチ産業、販売は不二サッシが担当。初年度販売計画3億円目標。

昭和フロント

「43回ストアフロントコンクール」作品募集、応募2月20日締切り



昭和フロント（市岡次郎社長）は、業界恒例の「第43回ストアフロントコンクール」の作品募集を開始した。

今回のキービジュアルは「環境の再生と保全」をあらわす柔らかなイメージ。アルミ建材の使われ方の多様化に対応して応募部門を見直し、店舗全般を対象にした「店舗・複合商業施設部門」と、それ以外の「住宅・オフィス・公共施設・その他部門」の2部とした。

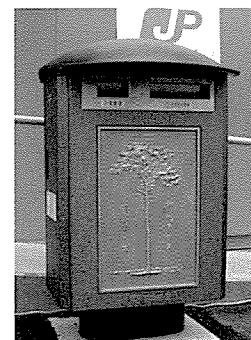
応募対象は、2011年3月1日から2012年2月20日までに引渡し

が完了している未応募の物件。期間は、2012年1月16日から2012年2月20日。ホームページからの応募は2012年2月15日。

審査基準は安全、安心、快適な空間を提供していることで、意匠性・融合性・斬新性がポイント。URL：<http://www.sfn.co.jp>

三和タジマ

奇跡の一本松”をモチーフにした「復興祈念ポスト」を郵便事業に寄贈



三和タジマ（来栖幹夫社長）は、東日本大震災で未曾有の災害に見舞われた被災地の復興を祈念して、郵便事業東北支社陸前高田支店に、「復興祈念ポスト」を寄贈した。

ポストは、復興のシンボルである“奇跡の一本松”をモチーフにしたもので、表面には宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を配したデザイン。岩手県奥州市の南部鉄を使用。レリーフ部はアルミ製。

ダイケン

LED照明を標準装備したフラット屋根自転車置場「サイクルロビー」

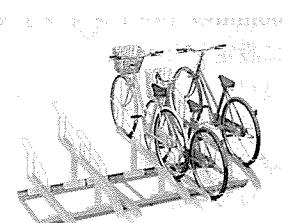
ダイケン（藤岡洋一社長）は、LED照明を標準装備したスリムなフラット屋根の自転車置場



「サイクルロビー」を新発売した。L型屋根のCY-DL型とT型屋根のCY-DT型の2タイプ。

柱・梁は高耐食溶融亜鉛めっき鋼管、屋根は高耐久カラーガリバリウム鋼板を使用。間口2746mm・3046mmの2種類。価格は、CY-DL型（間口2746×高さ2295×奥行2000）照明付き・基準型で19万4000円。

自転車をスムーズに出し入れできる「スライド式自転車ラック」



ダイケンは、ラックが左右にスライドして動き、自転車同士の干渉を軽減しスムーズに出し入れできる「スライド式自転車ラック」SR-K型、SR-S型の2タイプを発売した。

「スライド式自転車ラック」は、ラックの高低差を活かし、省奥行を実現したSR-K型と、ラックの前後差を活かしたSR-S型。

レールは高耐食性めっき鋼板、カラーはオータムグレー。収容台数はそれぞれ6台から。25kgまでの電動アシスト自転車も収容可能。価格は、6台収容SR-K 6型で8万7000円。

特集1

開口部の断熱・採光・通風機能を高め、快適な室内環境を創出する窓用シャッター／横引戸

■ 節電・省エネに最適なエコ商品として全国的な普及をめざす、快適さを追求するリフォームにも最適

最近の戸建住宅の外観は、シンプルで凹凸のないフラットなフォルムがおおい。こうしたデザインに合わないのか、建築コストの削減のためか、窓シャッターや横引戸パネルを取り付けないケースが増えている。

もともと窓シャッターも横引戸パネルも、台風通過地域での強風・飛来物対策、大都市圏での防犯・防火対策として使われてきた。採用率が高いのは、九州圏や関東・中部・近畿の三大都市圏で、積雪地域や気候の温暖な瀬戸内沿岸地域での採用率はきわめてひくい、地域色のつよい商品である。

こうした「防風雨」「防犯」をセールスポイントにしてきた窓シャッターや横引戸に、新たな付加価値・機能を加え、販売地域の拡大をめざす動きがようやく現れてきた。

断熱性・遮音性・採光性・通風性といった新たな機能をつけてきて、開口部の節電・省エネルギー効果をたかめ、快適な住環境を創造するなど、すべての住宅に共通するテーマをかける。すでに日本シャッター・ドア協会が、窓シャッターのエコマーク認定をめざして動き始めている。

また、窓シャッターや横引戸パネルの需要拡大には、いまのところ各社とも10%程度にとどまるリフォーム需要獲得もテーマとされる。すでに、横引戸パネルでは、不二サッシの「エコアマド」が可変ルーバーパネル仕様の採光・通風タイプを発売して、高付加価値のリフォーム需要を掘り起こしている。

さらに、現在の主力商品であるスチール製窓用シャッターの電動化率のアップが、依然として高付加価値化における課題に変わりはない。これは操作性・利便性を高め、バリアフリー対応をつづめていくことになる。高齢者が増えづけている社会的なニーズにマッチする。

こうした高機能・高付加価値化にともなう価格高に見合った、住環境の改善効果をユーザーに具

体的にわかりやすく提示することが求められる。

■ 横引戸パネルの減少つく、可変スラット採用の採光・通風タイプで雨戸パネル取替え需要を開拓

各社とも窓シャッターへの転換がすすんでいるが、大手サッシ各社は窓シャッター80対横引戸パネル20前後の販売比率、シャッター各社は窓シャッターが9割を超えていている。ただ、大都市圏における狭小地住宅では、窓シャッター化がすむと同時に、窓シャッターの取付数も減少しているとの指摘もある。

平成22年度の横引戸パネル販売数は約103万4500枚と、前年度比10%超の減少であった。窓数に換算して40万窓強と推定される。前年度も2ケタ減少しており、今後も減少傾向がづくとおもわれる。

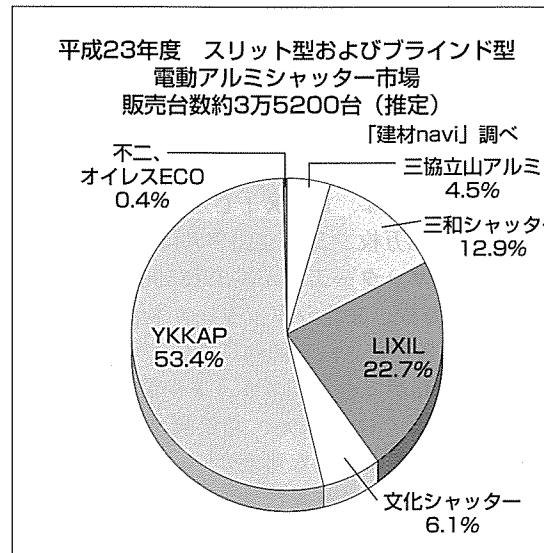
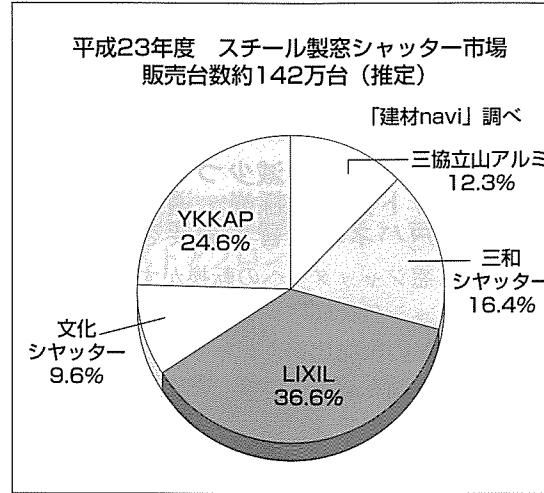
メーカー別には、LIXILが約48万枚、YKKAPが約38万枚、三協立山アルミが約9万8000枚、三和シャッター工業が約3万8500枚、不二サッシが約3万枚、文化シャッターが約8000枚と推定される。各社とも減少傾向にある。

そうしたなかでも、リニューアル需要の増加に期待する。とくに、採光・通風機能をもち、節電・省エネ対策に有効な可変ルーバーを使用したエコタイプが徐々に浸透しつつある。

不二サッシの「エコアマド」につづき、三協立山アルミの「採風戸パネルエアフリー」、LIXILの「木製一筋採風・採光戸」、YKKAPの「通風戸XRA」が発売されている。こうした可変ルーバータイプは、外付ブラインドシャッターでも使用されており、その遮熱・遮光効果は折り紙つきだ。既設の戸枠を利用し、窓シャッターへの変更がむずかしい大開口部に適した商品として注目される。

■ 22年度の窓用シャッター「スクリーンタイプ」販売数約142万台と微減電動化でバリアフリー対応を強化

一方、横引戸タイプに代わる、窓用シャッター、スリット型電動シャッター、ブラインド型電動シャッターを合わせた、平成22年度総販売台数



は約146万台と推定される。新築木造住宅の総窓数約1000万窓弱のうち、窓シャッターの対象となる引違い窓を約450万窓とすると、窓シャッターの採用率は30%強と算定され、まだ拡大の余地があるように見える。

* * *
平成22年度の窓用シャッター「スクリーンタイプ」販売数は約142万台と、前年度比微減であった。前年の2ケタ減少は回避したが、採用率が上がらない状態がつづいている。

メーカー別には、LIXILが約52万台、YKKAPが約35万台、三和シャッター工業が約24万台、三協立山アルミが約17万台、文化シャッタ

ーが約13万台と推定される。

窓シャッターのスタンダード商品「スクリーンタイプ」は、一部の商品をのぞきスチール製で、コストパフォーマンスのよさをセールスポイントにする。「耐風タイプ」、「防犯CPタイプ」など、バリエーション化がすすめられている。

文化シャッターが一般窓シャッターのバリエーション化に積極的に取り組んでいる。業界初の室内側取付窓シャッター「マドマスターLマ」、呼吸する窓シャッター「マドマスターR/マドマスターT」のパンチングモデルなどを開発・発売して新たなニーズの取り込みを図っている。

また、高付加価値化にむけたテーマである電動化率をアップするために、ブラインド感覚の操作棒による簡易電動タイプも投入されているが、コスト高を理由になかなか浸透しない。

文化シャッターが30%超、三和シャッター工業が20%超の電動化率であるが、大手サッシ各社は依然として10%にとどまっている。

電動タイプの普及が遅れている理由が価格高にあることは指摘されるとおりだが、シャッター・サッシ一体枠タイプの発売以来、市場をリードするサッシ系ルートにおいて電動商品の施工、保守・メンテナンス体制の整備の遅れにも一因があるともいわれる。住宅用ガレージシャッターのように高い電動化率を達成できるような販売、保守・メンテナンス体制の整備が求められている。電動タイプは、新築時がもっとも採用しやすい。とくにテラス戸は、開口も大きく、操作性の点からも電動タイプを取り付けることをユーザーに勧めるべきだろう。横引戸よりも大開口の窓シャッターのほうが、開閉操作の負担はおおきく、バリアフリー化の対象といえる。

■スリット型アルミ電動シャッター販売総数約3万1200台と5.5%増加、節電・省エネルギー効果が徐々に浸透

スリット型アルミ電動シャッターは、節電・省エネルギー、快適な住環境づくりに最適な窓シャッターとしてもっとも注目をされている。

平成22年度スリット型アルミ電動シャッター販売総数は約3万1200台と、前年度比5.5%増加した。環境につよい関心をもったユーザーを中心に販売

台数をのばすことに成功した。

メーカー別には、YKKAPが約1万7000台、LIXILが約8000台、三和シャッター工業が約2600台、文化シャッターが約2000台、三協立山アルミが約1600台と推定される。

採光・通風機能をもったスリット型窓シャッターは、アルミ形材製スラットを使用していること、電動タイプのみであることなど、シャッター開発の視点からみると、高価格商品の条件をすべて備えている。スチールシャッター専門メーカーの手の出しにくい商品ともいえた。

スリットの開口率によって採光・通風効果に違いができるために、精度の高い加工ができるアルミ形材が使用されると同時に、スラットの強度をとかめている。また、スリットの開閉など操作性を考えると電動タイプであることが求められた。

ただ、欧米でも外付け電動ブラインドシャッターにつぐ、高機能シャッターとして位置づけられているように、高価格が普及のネックになっている。こうした価格高に見合ったパフォーマンスを、いかにユーザーに示すかがポイントになる。

■採光・通風を自在にコントロールできる外付けブラインドシャッター販売台数約4000台と大幅に減少

窓シャッターの最高級品である外付け電動ブラインドシャッターは、スリット型電動シャッター以上に苦戦している。専業メーカーのオイレスECOを中心にYKKAP、三和シャッター工業、不二サッシ、文化シャッターと取扱い企業も限られている。

平成22年度の外付け電動ブラインドシャッター販売台数は、OEM供給もあって算定が難しいが約4000台と推定される。メーカー別には、三和シャッター工業が1930台、YKKAPが1800台で上位を占める。オイレスECOはOEM供給が主体であり、不二サッシ、文化シャッターとも発売して日が浅い。

日射熱を窓の外側でカットする効果は、オーニングや、すだれ等の遮光・遮熱商品でよく知られている。室内に流入する熱の約70%は窓からといわれ、最近の節電・省エネ対策では開口部における対応が重要視とされるようになった。

このためにLow-E複層ガラス仕様の高断熱サッシ

やオーニング、アウターシェードなどの窓まわり商品が、節電・省エネ対応のエコ商品として注目をあびている。

そうしたエコ商品の中でも、外付け電動ブラインドシャッターが最高級といわれるのは、単なる遮光・遮熱効果だけではなく、可変タイプのルーバー角度を自在に変えることで、採光・通風量をコントロールすることができる点にある。室内を最適な状態に保つつつ、エアコンの使用をセーブできるから無理せずに節電・省エネが可能になる。

国内の市場になかなか浸透しない原因は、スリット型電動シャッターと同様に高額商品であること。競合商品であるスリット型と同等の価格帯に引き下げるこことを目標に開発が続けられている。

オイレスECO

外付けブラインド「サンシャディBS」軸に展開、ルーバー角度を調整し空調効果の高い環境創造

【商品構成】 ■外付けブラインドシャッター——◆「サンシャディBS」：最大幅寸法2800mmで風速40m/sに耐える高強度が特長のひとつ。単窓最大開口面積7m²・建物高さ10m以下に対応。製作範囲高さ700~2500×幅700~2800mm。◆「サンシャディFT」：ルーバー可動領域0~125度、どの位置でもルーバー角度が調整できるフリーチルト機構を採用。単窓最大開口面積4.4m²。製作範囲高さ700~2200×幅700~2000mm。◆「ミラレス」：腰窓用手動ブラインドシャッター。ルーバー下部収納方式。採光・通風機能を活かすことを最優先にした外付けブラインドの廉価版。

【最近の動き】 外付けブラインドシャッターの専門メーカーとして、OEM供給を含めて国内市場の需要開拓に取り組んでいる。外付けブラインドシャッターは、太陽輻射熱を80%カットし、空調効果を高めるなど、ブラインドの角度を自在にコントロールして快適な室内環境をつくりあげることができる最高級品。

高機能かつ高額商品であるから、低価格志向の住宅での採用は難しい。外付けブラインドシャッターの機能性に対するユーザーの理解を得ることが発売以来、変わらないテーマ。

主力タイプは、「サンシャディBS」シリーズ

の「B S 3 A」。主な販売先は、大手ハウスメーカーや高級注文住宅のハイグレードゾーン。競合商品である採光・通風機能をもつスリットタイプとの価格差の縮小が、浸透のポイントとされる。

三協立山アルミ

シャッター付サッシ「メルフィーナ」
軸に展開、断熱・遮音・採光・通気性を備えたエコタイプの拡大に重点

【商品構成】 ■一般窓用シャッター——◆シャッター付サッシ「メルフィーナ」スチール手動・電動タイプ：電動タイプは、操作スイッチ・リモコン操作の2タイプ。◆シャッター付サッシ「ラクフィーナ」：操作棒によるブラインド感覚での開閉操作ができる簡易電動タイプ（廉価タイプ）。

■スリット型電動シャッター——◆シャッター付サッシ「メルフィーナ」アルミ電動タイプ：操作スイッチ・リモコンにより採光・通風を調整。

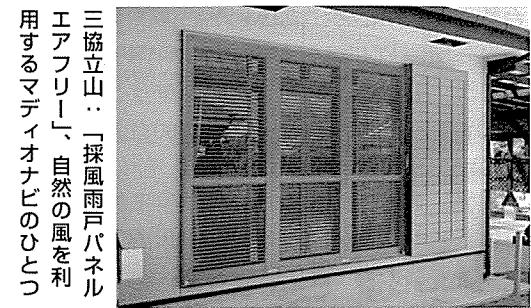
■横引雨戸——◆「雨戸付サッシ」：防風雨、防犯、断熱、防錆、通気など各種タイプを品揃え。

【最近の動き】 シャッター付サッシ「メルフィーナ」「ラクフィーナ」を中心に展開する。窓シャッターと横引雨戸タイプの販売比率は82対18と、窓シャッターが僅かながら増加しつつある、窓シャッターは、販売全体の95%が新築向けのサッシ一体タイプだが、1棟あたりの平均的な取扱数は2セット程度にとどまっている。引違い窓が主要なターゲット。装飾窓系については、「窓を開めた状態で室内操作が可能な手動タイプシャッター」の要望が出ているという。

また、耐風雨性、防犯性につぎニーズの多い快適性（断熱・遮音・採光・通気）に応える、スリット型アルミ電動タイプは若干、増加した。操作性のよさを特長とするスチール電動タイプを含めた電動タイプの販売比率は10%と推定される。

さらに、リフォーム向けの販売比率が、窓シャッター5%、横引雨戸15%と、圧倒的に新築向けがおおい。

節電・省エネへの要望が強まる中で、窓シャッターの断熱性、スリット型電動シャッターの採光・通風機能、横引雨戸も可動スリット雨戸パネルなどの高機能商品の浸透に力をいれている。



三和シヤッター工業

スクリーンタイプを「マドモアスクリーン」シリーズに統合、節電対策に洋風すだれ「外付スクリーン」提案

【商品構成】 ■住宅用窓シャッター「マドモアスクリーン」（サンパックスリム、サンプレミアⅢ、サンスカイなどのスクリーンタイプを統合）——◆「S」：シャッター取付面からのサッシ枠最大出寸法85mmまで対応。木造の先付け、木造・RC造・ALC造の外壁付け。手動・電動タイプ（電波リモコン）・メッシュスクリーン（ロール網戸）内蔵タイプなどを品揃え。ステンカラー・Yブラウンなど全7色。◆「G」：サッシ枠最大出寸法30mmまで対応し、シンプルな納まりを実現。木造外壁付け、RC造外壁付け・サッシ直付け、ALC造直付け。電動・手動タイプ。カラーバリエーション4色。「S」「G」共、電動式は障害物検知装置を標準装備。オプションでタイマー・ローラー。◆洋風テイストのすだれ「外付スクリーン」：従来のサンプレミアⅢに対応するロールスクリーン。◆電動システム「楽蔵Ⅱ」：既設の手動タイプを電動タイプに変更できるシステム。

■通風・採光が可能なスリットタイプ「アルロール」シリーズ——◆「アルロールスリムⅡ」：電動、先付（木造）・後付（木造・RC造・ALC造）。発泡ウレタン充填アルミ製スラット。全8色。／「アルロールスリムⅡCP（防犯仕様）」。◆「アルロールワイド」（単窓最大4m・連窓最大6mまで設置可能。先付・後付）／「アルロールワイドCP（防犯仕様）」。

■ブラインドタイプ——◆「スカイトーンⅡ」：ブラインド角度を自由に調整し、通風・採光をコントロール。電動タイプ、先付・後付タイ

プ。◆「ミラーユⅠ」：サッシ上部に収納スペースのいらない手動ブラインドタイプ。後付タイプ。

■住宅用雨戸——セット雨戸「戸皿タイプ」（戸板・レール・戸袋をセット化。鏡板のないすっきりしたデザイン）／単体雨戸「FA型（和のテイスト）・TD型（断熱・遮音タイプ）」／折りたたみ雨戸「エリートーV」（スラットが1枚ずつ独立した羽根板タイプ。戸袋不要でワンタッチフルオープンも可能。

【最近の動き】 シャッターのトップメーカーとして、スチール製スクリーンタイプからアルミ製のスリットタイプ、ブラインドタイプまで、あらゆる種類の住宅用窓シャッターを品揃えする。主力商品は、スクリーンタイプ「マドモアスクリーン」シリーズ。

最近注目されている節電対策向けの商品として、洋風テイストのすだれ「外付スクリーン」や、夏場に網戸としても使えるグラスファイバー製メッシュスクリーンタイプなどを投入する。

窓シャッターの高付加価値化をすすめるために、高機能なスリットタイプ、ブラインドタイプの拡大、スクリーンタイプの電動化に取り組んでいるが、電動タイプの採用率は販売の20%強と推定される。電動窓シャッターに精通した保守・メンテナンスの強力なネットワークをいかし、電動タイプの拡大に注力している。

不二サッシ

スラット角度を自在に調整できる
「エコアマド」「エコシャッター」で
エコリフォーム需要を掘り起こす

【商品構成】 ■ウインドウリフォームシリーズ・「エコシリーズ」——◆「エコアマド」：横引雨戸のイメージを一新したパイオニア商品。雨戸パネルに可変スラットを採用し、採光・通風機能をもたらす。とくに、窓シャッターでは難しい大開口幅のリフォームに最適なタイプ。スラットの角度は、0度～110度まで自在に調整できる。窓タイプ・テラスタイル（中棟付き・中棟なし）。雨戸枠がない場合、後付アマドレールを使用。全5色。◆「エコ面格子」：枠付（専用ブラケットで既設サッシ枠に取り付ける）と壁直付け。全6色。◆「エコ引違い雨戸」：雨戸とブラインド、網戸の

機能をひとつにしたタイプ。窓タイプとテラスタイル（中棟付）にそれぞれ2枚建・4枚建。全5色。◆「エコ折り雨戸」：洋風雨戸。窓タイプ・テラスタイル。

◆「エコシャッター」：電動ブラインドシャッタータイプ。先付タイプ・壁付タイプに電動タイプと手動・電動タイプ。スラットは0度～120度の範囲で自在な角度調整が可能。ワイド9尺タイプの中間方立は、業界初の巻き取りタイプ。

【最近の動き】 戸建住宅のリフォーム需要の掘りおこしをめざして、熱を入れない「エコアマドシリーズ」と、熱を逃がさない「後付樹脂内窓」を同時に展開する。横引雨戸の常識を覆した主力商品の「エコアマド」シリーズは、販売全体の80%がリフォーム需要に対応している。

既設の雨戸パネルを「エコアマド」に取り替えるだけで、採光・換気・プライバシー保護などの機能を開口部にもたせることができ手軽さが評価されている。とくに大開口幅への対応にすぐれていることがセールスポイント。

こうした大開口への対応とスラット角度の自在な調整（0度～120度）機能を活かして、電動ブラインドシャッタータイプの「エコシャッター」も投入する。停電時にも対応できる手動チェーン付タイプも用意。ワイド9尺タイプには、巻き取り式の中間方立を採用する。「エコシャッター」の販売は、新築とリフォームがほぼ半々。

文化シャッター

電動タイプ販売全体の30%を超える
呼吸する窓シャッター「パンチングモデル」等環境配慮型商品の拡大に重点

【商品構成】 ■住宅用窓シャッター「マドマスター」シリーズ——◆木造・先付タイプ「マドマスター」／「マドマスターII」：ウレタンフォーム充填アルミ製スラット仕様の換気・採光モデル（電動）と、スチール製スラットのスタンダードモデル（電動・手動）／「マドマスター」：換気・採光モデル（電動）。開口幅4000mmに対応。◆木造・後付タイプ「マドマスター」／「マドマスターII」：モードル・仕様は先付タイプと同じ。

◆木造「マドマスター」／「マドマスターII」：

タップ」の「パンチングモデル」：環境配慮型の呼吸する窓シャッター。スラットはスチール、パンチングスラットはアルミ形材。◆室内側取付の後付タイプ「マドマスターLマ」：でマドにも対応できる電動・手動タイプ。アルミ十木粉入り樹脂の木目調スラット仕様のハイグレードタイプと、スチールのスタンダードタイプ。開口幅2930mmまで対応。◆RC造・先付「マドマスターALC・RCリード」「マドマスターALC・RCリードBA」／後付「マドマスターLタップ」「マドマスターLタップBA」「マドマスターワイド後付」：モデル・仕様は木造と同じ。◆ALC造・先付「マドマスターALC・RCリード」「マドマスターALC・RCリードBA」のみ。

【最近の動き】 窓シャッターを活用した快適な室内環境づくり提案をすすめる。環境配慮型の呼吸する窓シャッター「パンチングモデル」の投入やブラインドタイプの取り扱いを始めている。これらは窓シャッターにも求められる防犯機能(BA仕様)にくわえて、節電・省エネ対策を強めるもの。

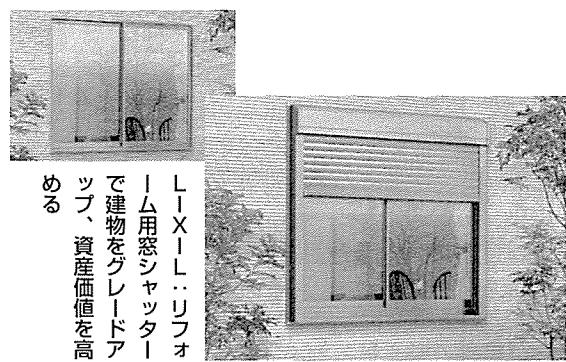
窓シャッターの高付加価値化では、スチール製スラットのスタンダードタイプを含め、電動タイプの拡販に力を注いでいる。電動タイプは、後付タイプを中心の展開にもかかわらず、販売全体の30%を超え、業界最高の電動化率を達成している。

LIXIL

鋼板窓シャッター「イタリヤ」を中心に展開、断熱・採光・採風機能を付加するエコリフォーム需要が増加傾向

【商品構成】 ■シャッターアイドサッシ——◆「アリーズ」：換気・採光機能を備えたスリット型電動アルミ窓シャッター。電動SRS仕様(タッチセンサーによる障害物検地機能を搭載。サッシを閉めたままでのワンタッチ開閉。リモコン対応のタイマー付きスイッチ。集中制御システム対応。停電時の手動開閉など)。◆「クワトロ」：耐風アルミ窓シャッター。電動・手動タイプ。電動SRS仕様・電動PRS仕様(障害物に一定の力がかかると停止・反転するプレッシャリターンセンサー)。ワイドスイッチによる開閉操作。◆ガレージシャッター「クワトロG」：ビルトインガレージ向け。

◆「イタリヤ」：鋼板窓シャッターのスタンダ



ードタイプ。電動・手動。電動タイプはSRS仕様・PRS仕様。◆「イタリヤEZ」：ブラインド感覚の操作棒によるリーズナブルな価格のスチール電動タイプ。◆「イタリヤミニ」：小窓専用の窓シャッター。◆「土間シャッター・イタリヤ」：店舗用引戸一体枠タイプ。

■単体シャッター——「アリーズ」「クワトロ」「イタリヤ」の各シリーズ：シャッターアイドサッシと同様の仕様。■リフォームシャッター——「アリーズ」「クワトロ」「イタリヤ」の各シリーズ：「クワトロ」「イタリヤ」の電動タイプに、SSS仕様(下枠付近で障害物にあたると停止する機能。中間部では停止・反転)を追加。手動タイプは開けきった時の衝撃音をやわらげるソフトストップ機構を採用。

■横引戸——◆単体戸「木製一筋戸」：断熱戸(Dan単体戸)／採風・採光戸(可動ルーバー単体戸1型)／一般戸(ルーバー単体戸)。いずれも環境配慮型商品。戸パネルの交換に対応。◆リフォーム用「戸一筋」：内付型・半外付型壁付タイプ。施工時間約2時間。

【最近の動き】 鋼板窓シャッター「イタリヤ」、アルミ電動シャッター「アリーズ」を中心に開口部の高機能化をすすめる。窓シャッターと横引戸の販売比率は77対33と、窓シャッター比率が若干高まった。

サッシメーカーの強みを活かしたシャッターアイドサッシが販売の90%を占めるが、最近の断熱・遮音性、採光・通風による省エネ+快適さを求める動きに対応し、リフォーム向けの需要が増加していることが特長。最近、窓シャッターをつけない分譲住宅が増えていることも、後付タイプの比率を高めている一因との見方。

ただ、窓シャッターの1棟あたりの取付数は4

～5箇所と比較的おおく、その高機能タイプの拡大に力をいれている。電動タイプは、リーズナブルな価格の簡易タイプを含めて豊富なバリエーションがある。現在、電動タイプは、販売全体の10%程度だが、業界ナンバーワンの販売量をほこる鋼板窓シャッター「イタリヤ」シリーズなど、電動タイプ拡大の余地はおおきい。

横引戸でも、断熱・採光・採風機能をもった可動ルーバー単体戸1型などの拡大を進める。古くなった戸パネルだけを高機能パネルに変えることができるリフォーム需要の増加が見込まれている。

YKK AP

窓シャッター採用率を高める小窓専用「内部操作シャッター」に注目 スリット型電動シャッターも成長

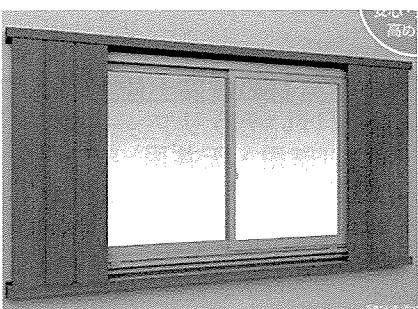
【商品構成】 ■サッシ一体枠窓シャッター「シャッター付引違い窓エピソード／エイピアJ／フレミング」——◆アルミ製スリットタイプ「ウェルシー」(リモコン電動タイプ。防犯仕様)。◆スチール製スタンダード「スクリーンタイプ」(電動・手動・防犯の各タイプ)。◆スチール製「耐風タイプ」(電動・手動・防犯の各タイプ)。◆おでがるシャッターウィンドウ「電すけCP仕様」(スチールタイプに対応する、つまみ操作のエコノミー電動タイプ)。

■サッシ分割枠窓シャッター(リフォームにも対応)——◆直付型「電動外付ブラインドシャッター」(スラット角度を自在に調整し、採光・通風・遮光・遮熱をコントロールできる最上位機種。APWのフラッグシップモデルにも採用)。◆壁付型・直付型のアルミスリットタイプ「ウェルシー」。◆スチール製スタンダード「スクリーンタイプ手動・電動」。◆スチール製「耐風タイプ手動・電動」。◆「とりかえ電すけ」(エコノミー電動タイプ)。

■「内部操作シャッター」(室内側から手動で操作できる業界初の小窓専用手動シャッター)。■後付用「アウターガード」(両引き分け構造。両面フラッシュ構造の鋼製パネル使用。防火・台風対策・防犯性にすぐれた新スタイルの窓商品)。

■横引戸——◆スチール製パネルタイプ、ウレタン注入の耐風対応のアルミ製パネルタイプ、

YKK AP：従来の雨戸やシャッターとは異なるユニークな意匠性の「アウターガード」



オールアルミ製の可動ルーバータイプ「通風雨戸XRA」など、新築・リフォーム向けの商品バリエーション。

【最近の動き】 窓シャッターのスチール製スクリーンタイプからアルミ製電動スリットタイプ、アルミ製外付ブラインドタイプまでフルラインナップする。窓シャッターと横引戸タイプの販売比率は8対2と、窓シャッターへの転換がすんでいる。

窓シャッターも横引戸も、首都圏では防犯対策、九州圏などの台風通過地域では雨よけ・風よけ対策に採用されることがおおく、対象となる住宅スタイルで使い分けられている。

主力の窓シャッターは、シャッターアイドサッシが90%を占め、後付タイプのサッシ分割枠は少ない。採用部位がもっと多いのが1階の掃き出し窓だが、プロジェクト窓におけるシャッターの採用率を上げるために小窓専用手動シャッター「内部操作シャッター」を投入している。最近、小窓の採用率が高まっていることもあり、注目の窓シャッターのひとつ。

また、高機能タイプのアルミ電動スリットタイプ「ウェルシー」は、業界ナンバーワンの販売実績を維持し、節電・省エネ、快適な室内環境を求めるユーザーをターゲットに拡大傾向にある。その一方、最高級グレードの「電動外付ブラインドシャッター」は減少しつつある。スチール製スクリーンタイプ電動を含めた電動タイプは、販売全体の10%程度で変わらない。

さらに、リフォーム向けの窓シャッターと横引戸タイプは現在販売全体の10%だが、今後は伸びていくと予想。省エネ・エコ対応商品のスリット型シャッター、可動ルーバータイプの横引戸タイプにも注目があつまっている。

四国化成工業

自然素材の珪藻土仕上材『けいそうリフォーム』(壁用・天井用)で清浄な室内環境を創出

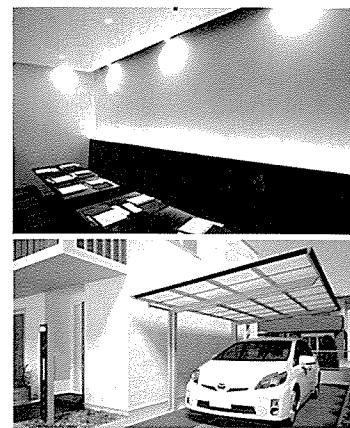
室内の空気環境改善に大きな効果がある自然素材の珪藻土仕上材『けいそうリフォーム』——土壁や砂壁等の古壁やビニルクロスの上から直接塗れるので壁・天井のリフォームには最適。戸建住宅をはじめ賃貸アパート、学校、病院など幅広く対応。賃貸アパートの付加価値を向上させることもできる。

ペット等の臭いを吸着したり、吸放湿機能で結露やカビ・ダニの発生しにくい室内環境がつくることができる。さらに、家具から発生する有害な化学物質を吸着・分解する独自技術の「ホルムアルデヒド吸着・分解剤」を配合している。

仕上げ面は、自然素材のやさしい質感と錆塗りの技で、多彩で味わい深い表情を生み出す。従来の地味な塗り壁のイメージを払拭する60色ものカラーバリエーション。最近、小さな子どものいる家庭や新婚家庭など若い世代から注目を浴びている。

珪藻土本来の機能を損なわずメタリックな輝きを加える表面化粧材

メタリックな輝きを放つ表面化粧材『メタルファス』——珪藻土仕上材の上から塗布し、自然素材のテクスチャにゴールド・シルバー・パールといった輝きを加えることができる表面化粧材。



珪藻土の上から塗布しても、その吸着機能や吸放湿機能を妨げない特殊樹脂を使用しており、これまでなかった新しい仕上げ材。商業施設を中心に採用がふえている。2008年度グッドデザイン賞を受賞している。

シンプルモダン対応の廉価版片流れカーポート『スマートポート』

シンプルモダン系住宅の外観に似合う廉価版片流れカーポート『スマートポート』——直線を基調にしたフォルム。シンプルな部材構成で、使用ビスを4種類に減らすなど、施工のしやすさにもこだわっている。

本体はステンカラー、桁部材に木調ラミネートシートやシコクの外装材とコーディネートできるビビット色のラミネートシートを用意。屋根材のポリカーボネート板には、一般タイプ・熱線吸収タイプ・熱線遮断タイプの3種。間口21・25・28・31×奥行25・50・56の各サイズ。

オプションにサイドパネル、LED照明、100Vコンセント、雨樋用落ち葉ネット等を用意。

三協立山アルミ

耐積雪150cm対応・業界初のオール採光屋根パネル仕様のカーポート『スノースカイ』



業界初のオール採光屋根パネルの耐積雪量150cmを実現した積雪地対応型カーポート『スノースカイ』——耐積雪対応のカーポートの屋根材は折板屋根との常識を覆し、屋根材にポリカーボネート板、熱線遮断ポリカーボネート板、FRPDRタイプの採光材3種類を用意。

耐積雪50cm・4本柱、同100cm・6本柱・同150cm・8本柱の3タイプを品揃えした。

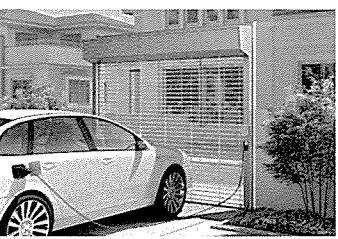
その構造は、従来の積雪地仕様と同等の積雪荷重性能をもったフレームをベースにして、屋根部の垂木間隔に工夫をくわえたて実現したもの。

屋根枠は、フラットなスタンダードタイプと高級感のあるデラックスタイプ。

価格は、耐積雪50cm・4本柱・スタンダードタイプ・2台駐車用65万8800円。同100cm仕様・6本柱・デラックスタイプ・2台駐車用85万5200円。同150cm仕様・8本柱・2台駐車用99万8000円。

三和シャッター工業

業界初の戸建住宅用シャッターゲート「EV・PHEV充電用コンセント付きサンゲート」発売



戸建住宅用シャッターゲート「サンゲート」シリーズの柱内に、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電用屋外コンセントを組み込んだEV対応ゲート。

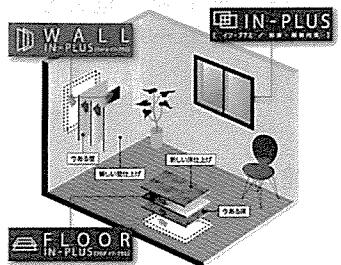
独立式アーチ門として好評の「サンゲート」シリーズの装飾パネル・下地ボード・アルミフレーム・化粧パネル・化粧パネル側面装飾付などの全タイプと、狭小駐車スペース向けの1台用アルミフレームタイプの「サンゲートライト」にも対応する。

AC200Vコンセント・AC100Vコンセントの各タイプ。深夜電力を利用、充電できるように防雨型タイマーも用意。

参考価格は、1台用・サンゲートF型・グリルシャッター仕様、サイズGW2860×H2300mm、AC200Vコンセントタイプの防雨型タイマー付で、120万3300円。

LIXIL

内窓「インプラス」と壁・床用の「真空断熱パネル」を組み合わせて一部屋まるごと断熱リフォーム実現『ココエコ』提案



“ココだけ簡単快適エコリフォーム”『ココエコ』——窓・壁・床の一部屋まるごと断熱リフォームを実現するエコリフォームの新工法。「暖房しても足元が暖まらない」「夏の西日が強くエアコンの効きが悪い」といった困りごとを解決することを目的に開発されたもの。

窓の断熱には防音・断熱内窓「インプラス」を採用。壁には「ウォールインプラス」、床には「フロアインプラス」の断熱パネルを使用する。

断熱パネルは、厚さ215mm・グラスウール16kgの一般的な断熱材の性能をクリア、新開発された厚さ12mmの真空断熱材。

薄く断熱性能の高い断熱パネルを使用することで、既存の壁や床に取り付けても部屋がほとんど狭くなることがない。解体工事も不要な内張施工で工期も短く（一部屋3日～1週間）、住まいながら一部屋単位でリフォームできることがセールスポイント。工事込み価格の目安は1畳10～15万円。

「間取り」の考え方を敷地全体に展開『+G』提案、好みの空間創造

敷地全体に自然浴空間を広げる『+G』——基本構成部材は、敷地をフレーミングする「Gフレーム」と目隠しや空間を仕切る機能の「Gスクリーン」、屋根空間をつくる「Gルーフ」。インテリア空間の「間取り」の考え方を敷地全体に展開するもので、様々なエクステリアのアイテムをつかって、好みに応じた快適で機能的な空間を創出することができる。

横スリットタイプのスクリーンとポスト・照明付き横ファンクションによる外構プラン、光を通すクリアマットパネルスクリーンを採用した空間づくりなど個性的な間取りプランを実現できる。

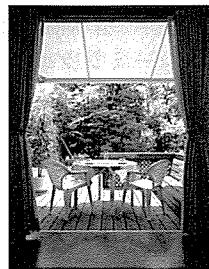
躯体に屋根を固定しない『アーキフィットミニ独立テラスタイル』

『アーキフィットミニ独立テラスタイル』——物干しスペースや勝手口の雨よけなど汎用性の高いテラスは、人気の後付け商品。「アーキフィットミニ独立テラスタイル」は、住宅の躯体に屋根を固定しない構造で、簡単に施工できることが特長。オプションで躯体すき間ふさぎ材も用意している。

間口2種類・出幅3種類・柱高さ3種類のサイズバリエーション。スリムなデザインの屋根枠を採用している。

文化シャッター／テンパル

ローコストタイプの手動式ロールオーニング「住宅用くるくるオーニング“すずし～の”」



今夏も予想される節電対策として、手動式ロールオーニング「住宅用くるくるオーニング“すずし～の”」を提案。2009年発売の住宅向けオーニングの主力商品「エルパティオ・プラス」につづく、新設・既設を問わないローコストタイプの日よけ。

オーニングの外断熱効果は、3mm厚ガラス入り窓のある部屋でのエアコン使用度を66%削減可能とのデータ。

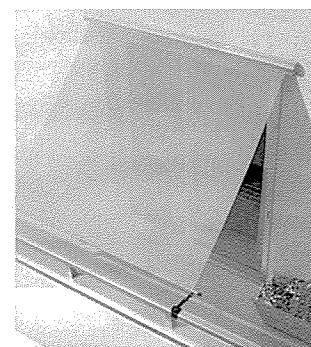
特長は、間口1間・1.5間・2間の3サイズ、出幅1500mmに限定したクランクハンドル仕様の規格タイプでローコスト化。キャンバスの巻き取り機構を前枠に組み込み、建物外壁に取り付けるための収納部の高さ寸法が125.5mmと、従来よりも60%の省スペース設計を実現し、設置対象スペースを拡げた。また、本体重量約26kgと20%の軽量化で取り付け作業を簡素化した。

キャンバス地はポリエステル100%の防炎認定品を使用。標準色10色のカラーバリエーション。参考価格が間口1.5間×出幅1500mm、12万5700円／1台。

YKK AP

戸建住宅用外窓交換工法「スマートカバー工法」——下枠段差を低く仕上げる「カット＆カバー工法」、左官塗装工事不要「壁カット工法用モール」追加

窓の外側で日射熱を遮蔽し、夏場のエアコンなど電気使用量を抑える、洋風すだれ「アウターシェード」を拡販



戸建住宅における窓リフォーム事業を進める新店舗ブランド「MADOショッピング」が予想を上まわるスピードで拡大をつづけている。その主力商品のひとつが、戸建住宅用外窓交換工法「スマートカバー工法」——大好評のエコ内窓「プラマードU」とともに、外窓交換で開口部の性能・機能・意匠性を高め、質の高い窓リフォームを実現する。

これまでの「雨戸付き窓でも室内からの施工可能」「様々な窓への対応」を特長にした工法に、既存の窓枠の一部をカットして、テラス窓の下枠段差を低く仕上げる新工法「カット＆カバー工法」と、外壁左官・塗装工事を必要とせず約1日で施工可能な「壁カット工法用モール」を付け加えた。

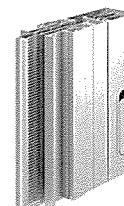
複層ガラス使用時に、簡単に「アウターシェード」を取り付けるだけで、陽射しを約64%カットできる。

あらゆる納まりの窓に対応できるうえに、中間フックを取り付けて半開状態による陽射しのコントロールも可能だ。

使用しないシーズンや強風時は、スプリングで簡単に巻き上げて、外観意匠を損なうことなくコンパクトに収納することができる。

三協立山アルミ

節電・省エネ対策に高性能省エネサッシシステム『ARM-S』——独自機構の「アームス自然換気システム」開発



ビルの節電・省エネ対策に有効な高性能省エネサッシシステム『ARM-S』シリーズ——スリムな60mm見付で大開口複層ガラスに対応するビル向けの環境配慮型商品。

商品構成のひとつ高耐風圧・高気密のセミユニットカーテンウォール「D-Series」は、等圧オープジョイント方式と外部グレージングガスケットを採用したもの。耐風圧性：S-6(2800Pa)、水密性：可動部1000Pa・FIX部1500Paをクリア。

「ARM-S@NAVアームス自然換気システム」は、壁面に沿って流れる風をとらえる「ウインドグラブ」(風を受け止める張り出し)や、室内に入る風量をコントロールする「定風量機構」(ユニットに風量調整弁を内蔵)など、独自の自然換気機構を備えたシステム。「ARM-S」の全シリーズに対応する。

また、ビル・集合住宅向けの定風量給排気換気スリット「キャップコン」も発売している。室内外の温度差を利用する重力換気方式を採用。換気扉(開き框)を枠見込内に納める。

寺岡オートドア

節電対策に最適なアルミストアフロント自動ドアユニット『ENTRARD』

節電・省エネルギー対策に最適なアルミストアフロント自動ドアユニット『ENTRARD(エントラード)』——自動ドア自体が消費電力の少ない省エネ製品であるが、「エントラード」は従来製品の消費電力量を、さらに軽量引分けタイプで約70%、中量引分けで約50%もの削減を実現した超省エネタイプ。

寒冷地などの冬場に自動ドア開口幅を狭くしたい、多目的トイレ等の入り口の人為的な開閉を行ないたいといった多彩な開閉動作を選択できる最新制御システム>を搭載。店舗の繁忙時間に開閉頻度が多くなると、コントローラ搭載の学習機能が働き、全開時間を自動的に延長する設定も可能。

震災以後、節電・省エネに取り組むコンビニなどの店舗・商業施設向けに最適の自動ドア。

省エネ・空調、防音・防犯性、意匠性を兼備した『オリジナルドア』

建物全体の空調効果や防塵・防音・防犯等の諸機能、さらに意匠性をたかめる『寺岡オリジナルドア』シリーズ——主力商品の「スリムセナージ・ドア」シリーズは、8mm厚強化ガラス＋省エネシール(戸先・上フレーム・戸尻)仕様で、気密性能の最高ランクA-4等級をクリアする高気密の自動ドアシステム。

縦フレーム見付25mm・A-4等



級の「I型」をはじめ、見付12mmの高意匠「II型」、バーガード装着の防犯対応「III型」、手指の挟まれにくい「IV型」、高さ3mを超える大開口対応・縦フレーム見付20mmの高デザイン「V型」等のバリエーション。

さらに安全対策の『D-Fence 1』(ステンレス製ポールタイプ・8mm厚強化ガラス)／『D-Fence 2』(ステンレス製丸パイプ・6mm厚強化ガラス)を用意する。

光と音で操作手順を知らせる多機能トイレ用自動ドアスイッチ『MFS-1』
使用時の誤作動を防ぐチャイルドロック機能も追加

多機能トイレ用自動ドアスイッチ『MFS-1』——パネルスイッチ(外径幅95×高さ295×厚14mm)は、角に丸みがあり、表面も大きな曲面を描いている手にやさしいデザイン。大型パネルスイッチはLED発光と電子音で、動作確認・使用手順を知らせる、誰もが分かりやすく使いやすいユニバーサルデザイン。さらに、使用時に子どもによる誤作動を防止するチャイルドロック機能を搭載して信頼性を向上させた。

ナブコシステム

携帯機を所持したまま玄関・駐車場等の出入り口を通過することができるナブコ無線認証システム『らくらくパス』



高性能・最新セキュリティ認証システム「らくらくパス」——携帯機を所持している人を、立ち止まることなく、かざすことなく認証するシステム。1つのカギ（携帯機）が、玄関や駐車場などのあらゆる出入り口のカギになり、施設全体のセキュリティをシンプルに管理する。

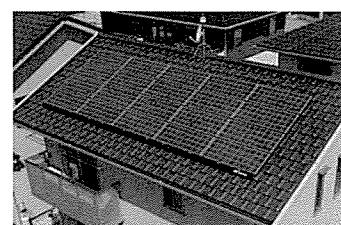
システム構成は、無線認証コントローラー（最大512台の登録可能）と、UHFアンテナ・LFアンテナ、3Dアンテナ内蔵の携帯機（縦71×横38×厚さ15mm、重量約25g、ボタン電池使用。リモコン機能・電池切れ時の近接給電機能）。

病院や介護施設の徘徊対策、独身寮の入室制限対策などで実績をあげている。中規模マンションやオフィス・商業ビル、工場・倉庫などのセキュリティ向上に最適なシステム。

例えば、マンションの駐車場出入り口の「超高速ターボドア・スパイナルドア」をはじめ、エントランスの自動ドア、宅配ボックス、エレベーターなどを1つのキー（携帯機）に統合することができる。

文化シャッター

住宅用／公共・産業用「太陽光発電システム」事業を推進、基本設計・施工・メンテナンスをトータルにサポート



LIXIL

集合住宅の経年劣化を解消し竣工時を超える付加価値を実現する改装サッシ『PRO-SE・RF/PRO-SE・RFS』

ビルサッシ・改装サッシシリーズ『PRO-SE・RF/PRO-SE・RFS』——集合住宅の経年劣化を解消するとともに、「設備の旧式化」「断熱性・防犯性の低下」「デザインの陳腐化」などの悩みを同時に解決し、竣工時を超える付加価値を実現する。

「PRO-SE・RF」は、集合住宅を対象にした、ウェットシールではなく、水密ゴム・気密ゴムにより高い水密性・気密性を実現した「ドライシール工法」。

特長は、安全性・施工性・デザイン性に配慮したビスを使わないはめ込み式額縁の採用、最小限の取付寸法で広い開口を実現、細い枠見付のシャープなデザイン、床との段差3mmのユニバーサルデザインなどを採用している。

ガラスバリエーションも、引違窓にガラス溝幅17・22・30・36mmの4種類の障子をラインナップ。

また、「PRO-SE・RFS」は、一般ビル・店舗・学校・集合住宅などを対象にした「ウェットシール工法」。あらゆる既存サッシに対応できるカバー工法専用枠。枠取付け用の専用下地材も用意し、施工時間を短縮。

ナブテスコ(株)住環境カンパニー

人の動きを読み取り不要な開閉動作をなくした『インテリジェントecoドアシステム』



一般的の自動ドアは、その前を横切るだけでも開いてしまう。これを避けるために、往来の多い場所ではタッチスイッチ式自動ドアが採用されている。しかしタッチスイッチ式はバリアフリーではない。『インテリジェントecoドアシステム』は、非接触式スイッチで国土交通省の「バリアフリー整備ガイドライン（旅客施設編）」にも適合する。

そればかりか自動ドアに近づく人の動きを、横切るだけか入退出するのかを瞬時に読み取って、ドアの不要な開閉動作をなくし、不要開放時間を大幅に削減することを実現した“賢いドアシステム”。自動ドアに求められる「バリアフリー」「室内環境の改善」「省エネルギー」を同時に実現した画期的な自動ドアシステムである。

調査でも、首都圏鉄道駅の執務室（通行人1日9万人）の場合、一般自動ドアと比較して、開放時間40~45%削減、不要開放時間70%削減。タッチ式自動ドアと比較しても不要開放時間30%削減を実証している。

YKKAP

作業時間20~30分と居住者の負担を軽減、段差のない窓改修を実現「EXIMA31GRAF工法」

集合住宅向けのリフォーム対応商品——◆「EXIMA31GRAF工法」：既設窓の下枠レールの一部を切り新たな窓をかぶせて、段差のないすっきりした窓改修を実現する工法。一般的なカバーカバー工法のおよそ半分の約20~30分の作業時間で済み、居住者の負担を軽減できることが特長。

◆「スチール玄関ドアカバー工法一体枠」：既存枠を新設枠でカバーし新たな扉を取り付ける玄関ドア改修工法。取り付け部材点数を削減し、施工時間を従来の75%に短縮した。最新のハンドル・扉バリエーション。

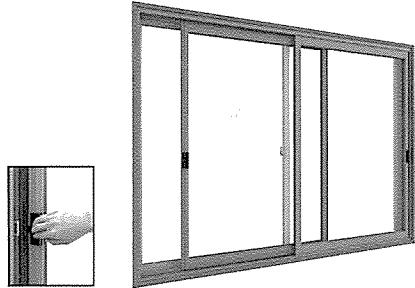
枠見込70mm・空気層12mm複層ガラス仕様の次世代省エネ基準IV・V地域対応のビル用基幹サッシ「EXIMA31」

ビル用エネサッシの主力商品——◆「EXIMA31」：次世代省エネ基準IV・V地域対応。枠見込70mm・空気層12mm複層ガラス仕様で、ビル用サッシの高断熱・省エネニーズに対応する。安心で性能、使いやすく長く使える機能、さらに意匠性にすぐれ、医療施設や商業施設など幅広い用途への展開が可能だ。

【新商品・新技術情報】／業界の動き

YKK AP

エコ内窓「プラマードU」に1回の操作で内窓の「施錠・解錠」と「開け閉め」が可能な業界初の「戸先錠仕様」を新発売



YKK AP（堀秀充社長）は、寒さ暑さや騒音を抑制し、手軽に省エネリフォームが可能なエコ内窓「プラマードU」に、1回の操作で内窓の「施錠・解錠」と「開け閉め」ができる業界初の「戸先錠仕様」を追加、新発売した。昨年11月再開された「復興支援・住宅エコポイント」対象商品。

従来、内窓の中央の召し合わせ部に「クレセント錠」が付いており、「施錠・解錠」と「開け閉め」の2回の操作が必要だった。新商品は、このクレセントに代わり、内窓の引き手と錠が一体となった「戸先錠」を装備することで、内窓を開け閉めするだけで自動的に施錠ができるようになった。

居室はもちろん、窓の手前にキッチンなどがあり、手を伸ばしながら窓を開け閉めするような箇所に設置すれば内窓の操作回数を減らすことができ、内窓設置にともなう開け閉めの煩雑さを解消することできる。

また、「戸先錠仕様」は、室外側から見えにくく、閉めると自動的に施錠されるため内窓の鍵のかけ忘れを防止に役立ち、防犯性を向上させる効果もある。これらの利便性・防犯性の向上で、内窓によるエコリフォームをさらなる推進を図っている。

サイズ：幅550～3000mm、高さ250～1400mm。戸先錠サイズ高さ80mm、手がかり16mm・カラーはホワイト・グレイ・ブラック。

カラーバリエーションは、ホワイト・木目クリア・木目ナチュラル・ミディアムオーク・ダークブラウン・グレイの6色。引違い窓（2枚建）窓タイプ。戸先錠仕様の価格は税込3675円をプラマー

ドUに加算。価格例：W1650×H1100mm・単板3mmガラス入りで4万6305円。1月30日より「M A D O ショップ」で先行発売、4月より正式発売予定。売上目標2012年度25億円。

三協・立山ホールディングス

24年5月期第2四半期で増収増益、通期売上高2670億円、営業利益69億円に上方修正、期末2円復配実施

三協・立山ホールディングス（藤木正和社長）の平成24年5月期第2四半期決算は、売上高1351億7700万円（前年度同期比5.0%増）、営業利益52億9000万円（64.5%増）、経常利益45億6500万円（96.4%増）、当期純利益31億6900万円（209.4%増）の好決算。これを受けて通期業績を売上高2670億円、営業利益84億円、経常利益69億円、当期純利益46億円と大幅に上方修正し、同時に4期ぶりの期末配当2円復配を実施する。

復配について、河村会長は予想以上に収益が上がった。収益をみるともっとおおく配当してもとおもわれるが、配当は継続することが大事で、不透明な点を考慮して2円と説明した。

また大幅な利益増加の要因として、藤木社長は、ここ数年続けてきた合理化努力が実を結んだことが一番大きい、同時に受注価格の改善を進めてきたことをあげた。

セグメント別——建材事業：売上高1012億4900万円（4.3%増）・利益23億9700万円（41.0%増）。マテリアル事業：184億4300万円（0.6%増）・13億2000万円（21.3%増）。商業施設事業：154億1400万円（15.7%増）・11億9900万円（99.5%増）。

通期予想：売上高2670億円・営業利益84億円——建材事業2040億円・49億円／マテリアル事業356億円・21億円／商業施設事業272億円・14億円。

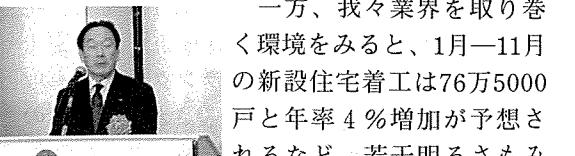
日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会

省エネ・節電のスマートハウス、スマートタウン等の新しいニーズに対応し業界発展をめざす——川本理事長

日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会は1月20日、東京・明治記念館で「新年賀詞交歓会」を開催した。

川本隆一理事長は冒頭、東北大震災の犠牲者に

哀悼の辞を奉げ、復興を祈念したのち、昨年は大震災、電力不足、また日本企業300社近くが進出するタイの大洪水とサプライチェーンの破壊、さらには欧州の金融危機が新興国にも影響するなど厳しい一年であった。



一方、我々業界を取り巻く環境をみると、1月—11月の新設住宅着工は76万5000戸と年率4%増加が予想されるなど、若干明るさもみえる。3次補正予算12兆円も、復興支援、エコポイントなどで住宅取得、リフォーム需要を後押しする明るい材料だ。協会は、省エネ・CO₂削減などの活動を行なっていく。大震災を機に生活者の意識も大きく変わってきていている。耐震性、安全性、省エネ性、節電性に关心が向けられてきている。こういった世の中のニーズは、スマートハウス、スマートタウンといった新しい技術・市場に向かっており、こうした新しい生活者、需要家のニーズに対応することが、我々業界の発展になるとおもっていると挨拶した。

日本シャッター・ドア協会

ストック市場対応の「シャッター・ドア施工専門技術者資格認定制度」創設、窓シャッターもエコマーク取得めざす



日本シャッター・ドア協会は1月24日、東京・グランドアーケ半蔵門で、「新年賀詞交歓会」を開催した。

岩部金吾会長は、ビジネスの基本は人間関係です。昨年の東日本大震災は日本人の価値観を変えつつあります。日本人は世界の中で一番美意識をもっているといわれます。震災では絆ということを再認識しました。

そうした中、協会は昨年、「シャッター・ドアの点検の法制化」を推進してきました。新たに「製品安全普及事業検討委員会」も設置しています。さらに、今年はストック市場へのきめ細かい対応が必要ということで、施工技術者を育成するための「シャッター・ドア施工専門技術者資格認定制度」をつくり、権威あるIDカードを交付し、お客様の信頼の証としたいと考えています。

環境問題では、シートシャッターでエコマークを取得していますが、今年は窓シャッターでエコマークを取得するための委員会を設置します——と、開会のあいさつをおこなった。

全国自動ドア協会

今年も通行者の安全性確保が最重要テーマ、7月「多機能トイレ自動ドア安全ガイドライン」を実施に移す



全国自動ドア協会は1月23日、東京・芝弥生会館で「新春賀詞交歓会」を開催した。

冒頭、三代洋右会長は、昨年はリーマンショックから回復の兆しをみせていたところに、これ以上おきることがないほどの災害がおきた年であった。明るい方を見ると、08年以来の建設業界の不況に下落感が出てきた、自動ドアも10年11年と台数的には底を打ち、今年も受注、着工が持ち直した感があり、今年も3年つづけての微増に転じることを願っている。

こうした中、協会は付加価値、保守サービスの提供をつうじて成長を担っていきたい。大震災後のエネルギー危機に際しての省エネ効果、老齢化社会に対応したバリアフリー対応、環境にやさしいといった開口部の分野はふえてくると思われますので、業界をあげてこうした環境の改善に貢献していきたいと思っています。今年度は、引き続き通行者の安全性の確保を最重要テーマとし、「通行者の安全ガイドライン」の改定をおこない、7月には「多機能トイレ自動ドア安全ガイドライン」が実施に移されます。今年も自動ドアの存在感をしめすことで、業界としてよい方向に向っていきたいと、開会のあいさつをした。

LIXIL

海爾集団との生産合弁会社「驪住海爾住建設施（青島）有限公司」を設立、まずシステムキッチン生産

LIXIL（藤森義明社長）は、海爾集団（ハイアールグループ）との生産合弁会社「驪住海爾住建設施（青島）有限公司」（総經理：竹下仁氏）を昨年12月31日設立した。昨年7月26日に合意して

いたもので、海爾集団の販売ルートとLIXIL（中国）投資有限公司の販売ルート向けにシステムキッチンを生産する（設立時月7000セット）。

新会社では今後、内装用ドアや収納などの塗装木製品や人工大理石、玄関ドア、住宅用冊子など、順次に生産品目を拡大する予定。また、海驥建築装飾設計（上海）有限公司の協力と、海爾集團物流拠点を活用して、商品開発・製造・内装設計・販売・物流・施工の一貫した事業基盤の構築をめざしている。

「窓d eエコキャンペーン」、「サティスd eエコキャンペーン」開催中

LIXILは、「窓d eエコキャンペーン」と、「サティスd eエコキャンペーン」を3月31日まで開催中。

対象商品は、復興支援・住宅エコポイント付与のシステムブランド防音・断熱内窓「インプラス」と、同じくINAXブランドのタンクレストイレ「サティス」の2つ。

期間中に「インプラス」を購入し、インターネット上の専用ページから応募した方々の中から抽選で360人に電気自動車やサイクロン掃除機、シャープの加湿清浄機、川島織物セルコンのインテリアラグなどをプレゼントする。また、同じく「サティス」購入者には抽選で210人に国内有名ホテル・旅館ペア宿泊券や全国各地のグルメギフトをプレゼントする。

住生活グループ／セコム

包括的業務提携契約を締結、LIXILニッタンの株式100%譲渡

住生活グループ（藤森義明社長）は、セコム（前田修司社長）との間で、1月20日包括的業務提携契約を締結した。この一環として住生活の連結子会社であるLIXILニッタン（板倉秀樹社長）の発行済普通株式（1432万8000株）を100%セコムに譲渡する契約を結んだ。株式譲渡日は4月1日。

今回の提携について、住生活の商品・ブランド、販売網・サービス体制と、セコムのセキュリティサービスのノウハウ、独自の研究・開発力、国内最多の緊急発信拠点のネットワークを融合させて、双方の既存事業および防災事業の継続的な事

業連携による発展と業務拡大、新規事業の開発をすすめるとしている。

日本政策投資銀行の「環境格付融資制度」において最高ランク格付取得

住生活グループおよび傘下のLIXILグループは、日本政策投資銀行（DBJ）が実施する「環境格付融資制度」で最高ランクの格付を取得した。この制度は2004年に創設され、環境への配慮が先進的と評価された企業に融資するもの。

今回の評価点は、自社事業の生態系への影響をアセスメントし、生物多様性に関する具体的な展開を進めている点、他社製品を含む住宅リフォーム廃材の再資源化の推進、国内拠点でのCO₂排出量削減に向けた高い目標と生産効率改善等の推進、メガソーラー等、再生可能エネルギーの導入を積極的に推進している点、多彩な環境配慮製品の開発と展開などの諸点。

この融資制度を活用して、LIXILビバのスーパービバホームのエコストア店やLIXILによる環境配慮の新商品の開発・生産設備の増強やリサイクル設備などへの投資を予定している。

LIXILイーアールエージャパン

瑕疵保険、耐震診断・補強、住宅・リフォームローン等をパッケージ化したワンストップサービススタート

LIXILイーアールエージャパン（ERA本部：東京都中央区、安藤進社長）は、「既存住宅再生ビジネス」の強化をはかるために、瑕疵保険、耐震診断・補強、住宅・リフォームローンなどをパッケージにしたワンストップサービスをスタートさせる。サービス開始にあたり、ERA本部はリニュアル仲介（西生建社長）と提携した。

サービス内容は、耐震診断、耐震補強の適合証明書発行。購入予定住宅の事前建物調査。住宅購入費用とリフォーム代金を一括してローンを組むことによる低利リフォームの実施。購入物件の瑕疵担保。フラット35S基準を満たすリフォームの実施。住宅履歴の登録や長期修繕計画などのアフターサービス。このサービス実施により、既存住宅流通の付加価値をたかめ、中古住宅の購入を活性化することがねらい。

自然にやさしい、やすらぎの空間



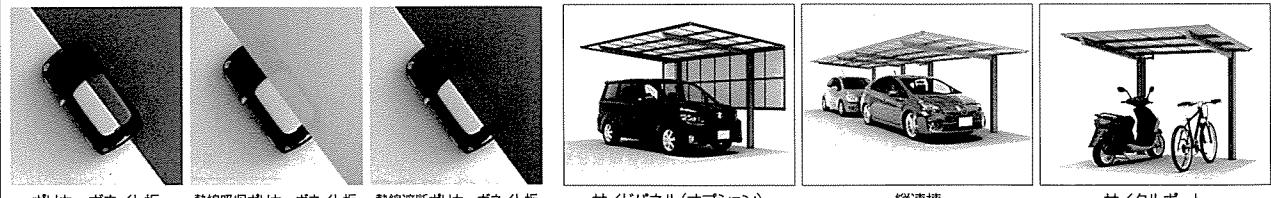
高いコストパフォーマンスのスリムなカーポート。



新発売 スマートポート

豊富なカラーや、機能を高めるオプションも充実。

屋根材は3種類から選べます。



四国化成工業株式会社

<http://kenzai.shikoku.co.jp>

東北・北海道：TEL022(374)4110 神奈川：TEL045(253)4111 中國：TEL086(245)3811
北関東：TEL0493(62)4127 中部：TEL052(705)0111 四国：TEL0877(58)5211
東京：TEL03(3451)4111 近畿・北陸：TEL06(6339)4111 九州：TEL092(431)4111